岩手日日新聞　平成28年6月5日（日）
※この記事・写真は岩手日日新聞社の許諾を得て転載しています。

稀（左）・軽石直人組＝4日、一関市総合体育館

V2　男子

仕掛けてチャンスをつくり、軽石が強打で仕留める持ち味を生かした。「自分たちが流れをつかんでシングルスに回したかった」と田村。危なげない試合運びで先手を取り、チームを勢いづけた。

2－2で第3シングルスに臨んだ軽石は「同じ状況だった2年前は余裕がなくて負けたけど、応援を力にして練習してきたことを出せた」と押し切った。岩手インターハイに並ぶベスト8を目標に掲げるチーム。軽石は「簡単なミスをしないように全員で集中して戦う」と次のステージを見据えた。

女王の実力示す

花北青雲

バドミントン女子団体は、花北青雲が決勝で前沢を破り3連覇。第1ダブルスを勝利した藤井愛・金野夕香（ともに3年）組は「気持ちを出してプレーできた」と熱戦を振り返った。

第1ゲームを失ったものの強気で攻め抜く意識を共有し、立て直した。シャトルを散らして相手を揺さぶり、甘い球が上がってくれば前に詰めた藤井がスマッシュ。第2、3ゲームと調子を上げてラリーを制し、県新人戦優勝ペアの実力を示した。

第2シングルスでも白星を挙げ優勝に大きく貢献した藤井は、花北青雲のモットーでもある「1点1点の積み重ね」を強調。チームはインターハイ8強を目指しており、金野は「チャンスでミスがあったのを修正し、レシーブ力も強化したい」と気合を入れ直した。

バドミントン女子団体決勝で息の合った連係を見せる花北青雲の藤井愛（手前）・金野夕香組＝4日、一関市総合体育館

（一関市総合体育館）

【1部男子】

◇団体戦▽決勝＝前沢3－2花北青雲

◇個人戦▽ダブルス①軽石直人・田村汰稀（前沢）②野田瑞貴・三浦大（花北青雲）③小原楓雅・吉田侑生（同）④村上和真・菊地拓也（前沢）⑤早野寛太・川村肇（盛岡市立）佐々木遼河・高橋輝也（水沢一）伊藤賢哉・内記敏徹（花北青雲）立野裕人・立野良樹（水沢一）

【1部女子】

◇団体戦▽決勝＝花北青雲3－1前沢

◇個人戦▽ダブルス①藤井愛・金野夕香（花北青雲）②松好奏海・長岡朱里（前沢）③外川実空・下瀬川ユリア（花北青雲）④吉田朋可・森田楓（盛岡市立）⑤廣澤花恋・佐々木鈴花（同）佐藤紫珠乃・渡邊美穂（盛岡三）佐々木陽菜・木立千夏（前沢）佐々木良幸・市原杏奈（花北青雲）

ソフトテニス

（北上市・和賀川グリーンパークテニスコート）

【1部男子】

◇団体戦▽1回戦＝岩谷堂2－1大船渡東、一関一3－0花巻東、盛岡中央3－0大迫、一関工3－0宮古、宮古工2－1花巻北、北上翔南2－1盛岡大附、平舘3－0水沢工、一関学院3－0大野、一関高専3－0岩泉、盛岡農3－0軽米、釜石商工3－0大東、盛岡市立3－0江南義塾、遠野2－1宮古水産、花巻南3－0雫石、水沢商3－0久慈工、釜石3－0前沢、水沢2－1久慈東、花巻農2－1不来方、盛岡商3－0種市、盛岡三3－0千厩、久慈3－0花北青雲、盛岡一3－0専大北上、福岡2－1盛岡北、金ケ崎3－0紫波総合

▽2回戦＝黒沢尻北3－0岩谷堂、一関一2－0盛岡中央、一関工2－1宮古工、大船渡3－0北上翔南、高田3－0平舘、一関高専2－1一関学院、釜石商工2－1盛岡農、黒沢尻工3－0盛岡市立、岩手3－0遠野、花巻南2－1水沢商、水沢2－0釜石、花巻農2－1一関二、宮古商2－1盛岡商、盛岡三2－0久慈、盛岡一2－0福岡、盛岡工3－0金ケ崎

【1部女子】

◇団体戦▽1回戦＝岩手女子2－1花巻農、釜石3－0葛巻、盛岡一3－0盛岡南、平舘3－0盛岡白百合、紫波総合2－1盛岡北、盛岡商2－1大船渡東、盛岡誠桜3－0盛岡農、水沢3－0沼宮内、宮古3－0盛岡市立、大野2－1水沢工、宮古商3－0水沢商、軽米2－1山田、花北青雲2－1伊保内、一関高専3－0住田、高田3－0岩谷堂、一関一3－0花巻東、盛岡三3－0盛岡中央、大迫2－1前沢、北上翔南3－0一戸、花巻北3－0大東、大槌3－0岩泉、一関学院3－0福岡、盛岡二2－1千厩、遠野2－1宮古水産、一関二3－0水沢農、釜石商工2－1久慈東、専大北上2－1久慈工、不来方3－0盛岡大附、久慈2－1大船渡

▽2回戦＝花巻南2－1岩手女子、盛岡一2－1釜